

12月5日 自立教育部門8 「関わり方②同じことを繰り返し話し掛けられるときの対応」
関わり方②「同じことを繰り返し話し掛けられるとき」・・・どのように対応するとよいでしょうか。

実際に対応した内容の紹介（1学期の生徒Aさんと職員の様子）

<対応1>

【状況】生徒Aさんは「C区」という言葉を繰り返し職員に質問してくる。

職員（以下T）は時間に余裕がある。

【対話の内容】

A（Tの背中に話し掛ける）「C区。」（Tは振り返る）（Tのそばによって）「C区。」

T「そうそう。C区に住んでるよー。」

A「C区。」

T「そうそう。大きなお店があるね。」

A「大きなお店。C区。」

T「うん、そう、C区。近くにN駅もあるね」

A「N駅。C区。」

T「そう。N駅。Aさんは何駅使うの。」

A「駅？O駅。」「C区。」

T「うん。N駅はC区。O駅は？何区にあるか知ってる？」

A「O駅。H区。C区。N駅。」

T「へー、よく知ってるね。O駅はH区なんだ」

A「そう。（といて、背を向けて去って行きました）」

【対応のポイント】

AさんはTと会話をしたくて「C区」と言葉を掛けている。また、この言葉を繰り返すことで職員とのやり取りを楽しんでいるので、Aさんが満足するまで、Tは会話を続けた。

<対応2>

【状況】Aさんは「C区」という言葉を繰り返し職員に質問してくる。

Tは急いでいるなどして、Aさんと話をする時間がとれない。

【対話の内容】※前半は<対応1>と同じ

A（Tの背中に話し掛ける）「C区。」（Tは振り返る）（Tのそばによって）「C区。」

T「そうそう。C区に住んでるよー。」

A「C区。」

T「うんそう、C区。Aさん、ごめん。今ちょーっと時間ない。続き、明日でもいい？」

A「明日？いい（背を向けて去って行く）。C区。」

T「うん。C区。（Aさんの背中に向かって）またね。」

【対応のポイント】

AさんはTと会話をしたくて「C区」と言葉を掛けている。しかし会話する時間がないTは、いつならいいのか、いつなら会話に応じることができるのかをAさんに伝えて、話を切り上げた。

終わりに

同じことを繰り返し話し掛けてくるような一見すると何かにこだわっているように見える言動も、上記のようにその生徒に寄り添う姿勢と対話で接することができると、お互いにとって良い時間を過ごすことができると考えます。多くの人にとって今回の内容が、同じことを繰り返し話し掛けてくる人と関わる時の一助になるとありがたいです。